

七草の節句の1月7日、大分市永興の臨済寺で、参拝者らに「七草がゆ」が振る舞われました。

七草の節句の7日、大分市永興の臨済寺（秦順照住職）で、写経に訪れた檀信徒や参拝客に「七草がゆ」が振る舞われた。

七草がゆは一年の無病息災を願うほか、正月料理で疲れた胃腸を整えるため食べるとされる。

臨済寺では約25年前から七草がゆ、精進料理を提供している。この日は午前8時からセリ、ナスナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロの春の七草を加えたかゆ約300人分を寺の関係者らが用意した。

あったか「健康の一杯」 七草がゆ



無病息災を願い、七草がゆを食べる参拝客ら＝7日午前、大分市永興の臨済寺

(2014年1月7日夕刊11面)

①春の七草を知っていますか？ それぞれ、どのようなものでしょう。

.....

.....

.....

.....

②1月7日に「七草がゆ」を食べるのはなぜでしょう。なぜ「7日」、なぜ「おかゆ」なのでしょうか。こういった願いがこめられていますか。

.....

.....

.....

.....

③お正月の料理といえば「おせち」ですが、それぞれの料理と込められている願いを調べてみよう。

.....

.....

.....

.....